

～ 会派の活動を報告します ～

政友会

当会派は、11月に会派勉強会および会派主催の研修会を開催しました。

11月11日、午前中に教育行政や待機児童、子育て支援、ごみ処理行政等について市執行部の説明を受けながら会派勉強会を行い、午後からの研修会では一般社団法人アイネット理事長の浅沼秀司氏を講師に招き、「引きこもり支援について」というテーマで講演をいただきました。当日は多くの議員や市役所職員、社会福祉協議会職員の参加のもと、引きこもり、不登校、ニート等、若者の諸問題に対する課

題や取り組みについて貴重なお話を伺い、質疑応答では活発な意見交換が行われ、大いに実りある研修となりました。

11月21日には株式会社ツクバ・インフォメーション・ラボ代表取締役の佐山剛勇氏を講師に招き、「まちの個性を強みに変える～シティプロモーション戦略～」をテーマに講演をいただきました。少子高齢、地方創生時代にあつて、地域間競争が激しさを増している昨今、地域の特色を生かし、まちの魅力を広く発信するプロモーション活動が非常に重要となってきました。研修会を通して、古河市の個性を強みに変えるさまざまなヒントを得ることができました。

政友会では今後も議員・会派として政策提言を行えるよう、積極的に研修会・勉強会を開催し、市民の皆さまの要望に応えるべく日々邁進してまいります。(なお、鈴木隆議員の議案第97号の採決の真意は賛成です。)



会派勉強会の様子

鈴木 隆 佐藤 泉
大島 信夫 鈴木 務
小森谷博之 渡邊 澄夫

古河市公明党

古河市公明党は昨年8月、災害時の情報伝達手段として開発された「クレバーメディア」についての勉強会を開催しました。このメディアは、私たちが普段使っているスマートフォンに、市からの音声と文書を一斉配信できるインターネットラジオを活用したものです。平常時はコミュニティラジオとして活用し、災害時には市民のスマートフォンアプリを強制起動させ、音声と文書で災害情報を伝えます。また、スマートフォンを持っていない市民には、防災ラジオと同様の機能を持った、インター

ネットラジオ端末を設置することで、同じ内容を伝えることができます。今後、有効性などを検証しながら、実用に向けて研究してまいります。



会派の勉強会

また、11月には86項目の「2020年度予算要望書」を、針谷市長に提出しました。この要望書は、新年度予算の編成にあたり、予算への組み入れを希望する新規事業や、現在取り組んでいる事

業のさらなる充実を目指し「予算要望書」として提出するものです。市民生活のさらなる向上を目指し、日常の議員活動の中で市民の皆さまからいただいたご意見やご要望を形にすることを目的としています。

古河市公明党は今後も、住み良い街づくりを目指し全力で取り組んでまいります。



予算要望書の提出